

(別紙5)

整理番号 2017P-045
補助事業名 平成29年度 国際交流の推進活動 補助事業
補助事業者名 アナトリア考古学研究所(トルコ共和国)を拠点とした国際交流活動

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

日本人による古代オリエント史の「年表(文化編年)」の再構築を目指し、自らの「年表」により歴史を語ることを一つの目的とする。併行して出土遺物、遺構の保存、修復、つまり「文化財保存」に重点を置く。そして日本、トルコ、欧米の次世代を担う若手研究者を養成し、各国の若者が世界に目を向ける切っ掛けとなることをもって公益の増進に寄与する。

(2) 実施内容

考古学、植物考古学フィールドコース 博物館学フィールドコース

平成29年度は、遺跡、遺物の保存修復活動、および考古学フィールドコース、植物考古学フィールドコース、博物館学フィールドコース、「考古学の授業」等を開催しました。

特に、当該事業の核となるのはフィールドコースです。考古学フィールドコースでは、日本から参加した学生が実際にカマン・カレホック遺跡の発掘作業を体験し、出土した様々な遺物(土製品、青銅製品、ガラス、骨など)と保存状態の良い建築遺構を教材として授業を行います。博物館学フィールドコースでは、トルコ国内の保存修復センター所属の若手の保存修復専門家を対象に保存修復についての実践的な技術を学びます。

当該事業は、常に「発掘調査」と「文化財保存」を中心に据えた人材の育成と国際交流を目指しているのが特徴で、平成29年度も大きな役割を果たすことができたと考えています。



考古学フィールドコース



博物館学フィールドコース



植物考古学フィールドコース



2 予想される事業実施効果

当該事業に日本、欧米各国から参加した学生たちにとって、地元の発掘作業員やトルコの学生たちとの交流や各国の研究者を目指す学生たちとのミーティングは、貴重な体験であったと思われます。また、トルコ国内の大学から発掘調査に参加する多くの学生にとっても、現場は刺激を受ける場所となっています。ここでの体験から博物館学芸員や教員を目指す学生が大勢います。

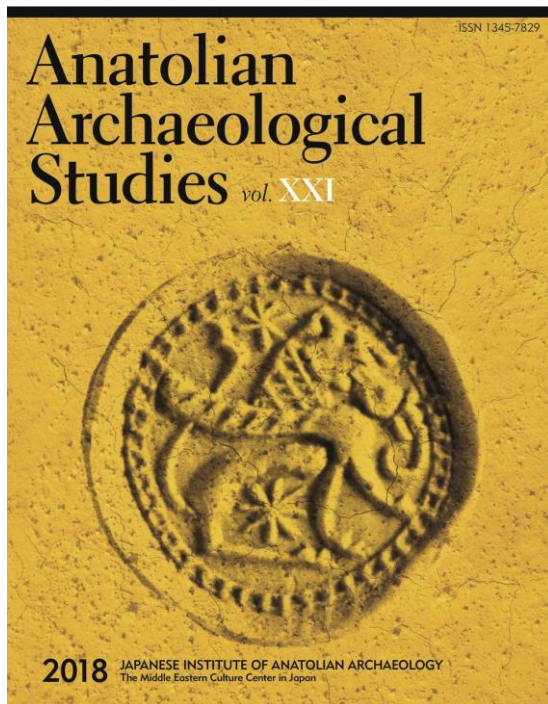
当該事業に参加した若手研究者、学生たちは、その後それぞれの所属先である大学や研究機関、その発掘現場に戻りますが、当該事業で得たものを活かし、国内の発掘現場や大学、研究機関、教育機関において、現場をリードしていく存在に成長していくことが期待されます。実際に、トルコ国内の博物館に戻った学芸員や保存修復専門家が展示の工夫や収蔵品の保存修復に実績を上げており、トルコ政府、トルコ考古学界の期待は増々高まっています。

3 補助事業に係わる成果物

(1) 補助事業により作成したもの

Anatolian Archaeological Studies Vol. XXI

<http://www.jiaa-kaman.org/jp/event/11.html>



CONTENTS

11	Kimiyoshi MATSUMURA	The Glass Bottle and Pendant from Büklükale and Their Dating
30	Georg NIGHTINGALE	Glass of the Mycenaeans
61	I. NAKAL, Y. ABE, K. TANTRAKARN, K. MATSUMURA and S. OMURA	An Analysis of Glass Artefacts Found in the 16th Century BC Layer at Büklükale, Turkey—One of the Oldest Glass Vessels Excavated in the Near East—
70	J. HENDERSON, S. CHENERY, J. EVANS, K. MATSUMURA, S. OMURA and E. FABER	Hittite and Early Iron Age Glass from Kaman-Kalchöyük and Büklükale, Turkey: Evidence for Local Production and Continuity?
85	P. T. NICHOLSON and C. M. JACKSON	Identifying the Characteristics of the Earliest Glass Works from Excavations
95	Gonca DARDENIZ	The Preliminary Archaeological and Scientific Evidence for Glass Making at Tell Archanah/Alalakh, Hatay (Turkey)

The Bronze Age Glass Workshop conducted by the Japanese Institute of Anatolian Archaeology, MECCJ, in 2014 was supported by the following organizations (in alphabetical order):

Japan Keirin Association
Japan Society for the Promotion of Science (JSPS)

This volume was supported by JKA through its promotion funds from KEIRIN RACE.



Japanese Institute of Anatolian Archaeology
The Middle Eastern Culture Center in Japan
3-10-31 Osawa, Mitaka, Tokyo 181-0015
E-mail: tokyo@jiaa-kaman.org
©Japanese Institute of Anatolian Archaeology/
The Middle Eastern Culture Center in Japan 2018

ISSN 1345-7829

All rights reserved

Design/Layout: Ryotaro Nakamura
Printed in Japan by I'Word Co., Ltd.
2-4-3 Nishikanda, Chiyoda-ku, Tokyo 101-0065

(別紙5)

(2)(1) 以外で当事業において作成したもの
該当なし

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 公益財団法人 中近東文化センター

(コウエキザイダンホウジン チュウキントウブンカセンター)

住 所： 〒181-0015

東京都三鷹市大沢3-10-31

代 表 者： 理事長 阿部 知之 (アベ トモユキ)

担 当 部 署： アナトリア考古学研究所 (アナトリアコウコガクケンキュウジョ)

担 当 者 名： 事務担当 吉田 知子 (ヨシダ トモコ)

電 話 番 号： 0422-32-7665

F A X： 0422-31-9453

E - m a i l： tokyo@jiaa-kaman.org

U R L： <http://www.jiaa-kaman.org/>